

香南市の道徳教育

0歳から15歳まで通して行う教育

香南市では、保育所・幼稚園・小中学校までの15年間を通して、子どもの発達段階に応じた友だちや周りの人と関わっていくコミュニケーション能力、集団や社会生活を送るうえで必要な規範意識、自分のことが好き、自分や周りの人を大切に思う心などの自尊感情を育む教育をすすめています。

道徳教育のねらい

道徳教育は、子どもたち一人一人が自尊感情を育み、これからの人生をよりよく生きていくために人として必要不可欠な、善悪などの道徳性を身につけることをねらいとしています。

道徳教育指定事業を受けての取り組み

今年から3年間、高知県教育委員会の「道徳教育地域連携事業」を受けることになりました。

●事業の目的

この事業は、学校だけでなく、家庭や地域の方の協力を得て、

子どもたちの道徳性を育てることが大きな目的です。

●事業の拠点校

香南市では、香我美中学校、香我美小学校、岸本小学校の3校を事業研究の拠点校と位置づけ、今後は、取り組みを市全体へ広めていく予定です。

●主な取り組み

年間を通して、道徳参観日や公開授業研究、研究協議などを各学校で実施しています。参観日では、各学級での授業参観やPTA主催の講演会など、学校の特徴を活かした取り組みを行っています。



▲道徳参観日にPTA主催で行われた高知大学教育学部、田辺重任准教授による講演会の様子。(香我美小学校)

《授業では》 授業の終わりに、

これまでの自分と重ねて考える「振り返り」の時間が設けられています。また、心情カードを使って、「もし自分だったら…」と自分に置き換えて、登場人物の心情を深く考えています。自分の考えを自分の言葉で伝えたり、友だちの言葉から新し



▲心情カードを使った授業。



▶振り返りの時間は、自分自身と向き合う大切な時間です。

い発想や考え方に気付くこともできます。
《コーディネーターの設置》香南市では、森下雅子教諭(香我美小学校)と岡村真由教諭(香我美中学校)が、道徳教育推進コーディネーターとして活躍しています。

「生きる力」の基礎となる道徳性を育むために、皆さまのご協力をお願いします。



▲道徳の授業では、学習の流れを振り返ることができるように黒板への書き方が工夫されています。吹き出しに使う色に意味付けをし、視覚的に分かりやすく工夫をしています。